

令和2年度（2020年度）前半の活動

1. 2月29日から臨時休館（95日間）

県の方針により休館を決定

3月末の再開は見送り（衛生資材等の不足）

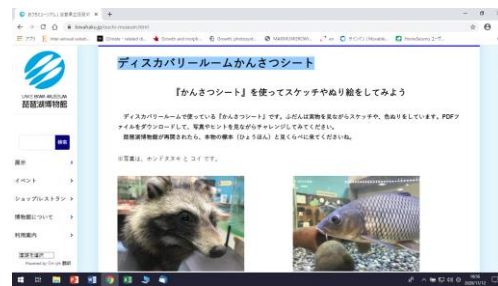
2. 休館期間中でもできることを ～おうちミュージアム～

インターネットで「家でもできること」の素材を提供

滋賀県子供応援プロジェクト／北海道博物館の「おうちミュージアム」



トップページバナー（北海道博物館提供）



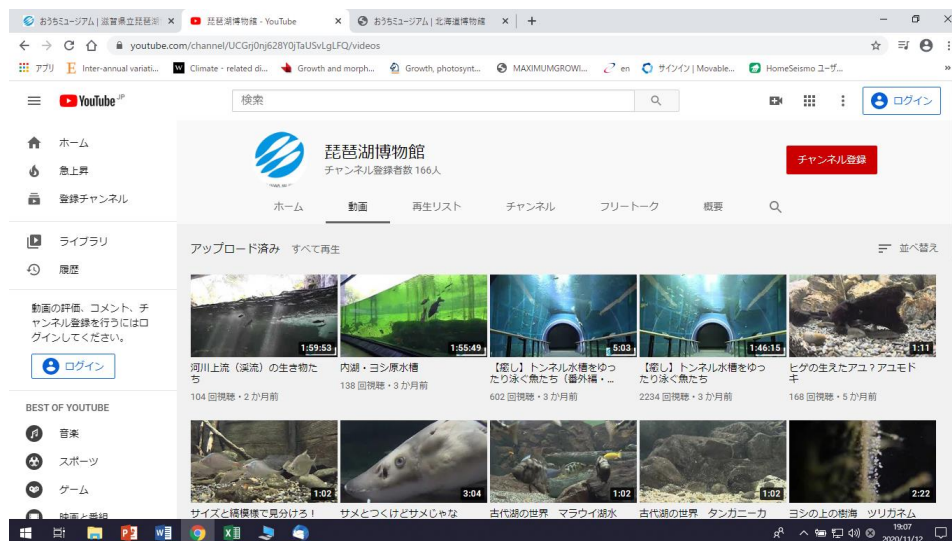
まずは既存の素材で使えるものを提供



制限緩和後は、観察用資料も提供



休館期間中に展示交流員が開発したツール



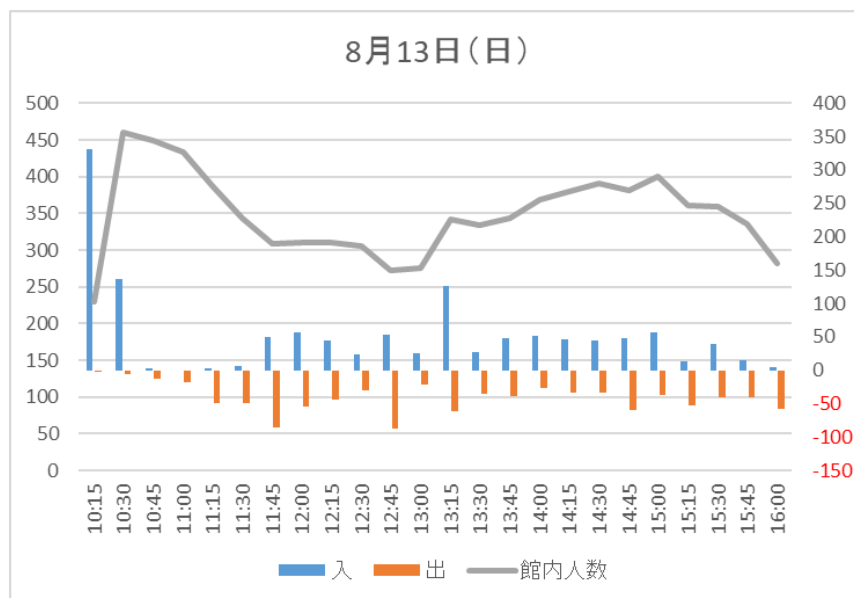
Youtubeにも動画を載せた（博物館のページからリンク）

3. 再開館に向けて準備開始（5月）

衛生資材の購入 当館のサポーター企業からも資材のご寄贈をいただいた
館内人数の調整方法の検討

4. 6月2日より再開 混雑時は整理券方式で対応

上限 500 人を設定し、上限に近付いたら入場制限し整理券配布。
滞在時間 1 時間半でシミュレーションしながら、配布時間帯を制御
入り口で入館人数と退館人数をカウントして確認



1 日の入館者数推移の一例

【課題】

玄関に来るまで、入れるかどうかわからない

→ 駐車場入り口とツイッターで逐次状況を開示

日曜日には昼頃に整理券が無くなることもあった（4 時間待ち）

昼前後のロスが大きい → 調整が難しい

人手がかかる 駐車場入り口・玄関前（交通整理、整理券配布／確認、消毒、計数）

⇒ 事前予約システムの導入を検討

5. イベントの再開（9月～）

・人数等に注意しながら開催

主催事業 田んぼ体験教室／里山体験教室／プランクトンビンゴ（博物館で楽しもう）

共催事業 子供ロケット体験教室（子育て NPO 法人 くさつ未来プロジェクト）

景観づくりチャレンジ隊 対岸景観クルーズ（大津市・草津市）

6. 団体の受け入れ再開（9月～）

9月より学校等の受け入れを再開した（予約は7月1日より開始）
電話で予約、専用のエクセルシートを作り、館内の人数を調整。

The screenshot shows an Excel spreadsheet with a grid layout. The columns represent dates from 10月28日 (Sun) to 11月5日 (Sat). The rows represent time slots from 9:30 to 18:00. The spreadsheet is color-coded: red for '予約済み' (Reserved), green for '空き' (Available), and blue for '予約可能' (Reservable). The interface includes the Excel ribbon with various tabs like 'ファイル', 'ホーム', '挿入', etc.

団体予約用のエクセルシート

一定の空き枠を個人用に充てる。昼時に集中する傾向があり、調整に苦労

7. 事前予約システムの導入

10月10日のグランドオープンから適用（予約は10月1日から）
既存のサービスプラットフォームを利用（国立科学博物館と同じ）

The screenshot shows a web browser displaying the reservation page for Lake Biwa Museum. The URL is biwahaku.jp/yoyaku.html. The page features a navigation menu on the left with links for '展示', 'イベント', 'ショップレストラン', '博物館について', and '利用案内'. The main content area shows a calendar for November 2020. A modal window is open, showing the reservation details for 2020/11/15 (Sun). The modal has a table with columns for '時間' (Time) and '空き情報' (Availability). The data is as follows:

| 時間 | 空き情報 |
|---------|------|
| 10:00 ~ | 残り1人 |
| 10:30 ~ | 残り1人 |
| 11:00 ~ | 残り0人 |
| 11:30 ~ | 残り0人 |
| 12:00 ~ | 残り2人 |

入館時間帯（30分刻み）指定、滞在時間の制限なし

- 予約の手順
日時を選ぶ → メールアドレス認証 → 入力フォームの URL が送られる
→ フォームに代表者氏名と人数を記入して登録 → 受付完了メール
→ メールを見せてチケットを購入
- インターネットが使えない人への対応
空き枠があれば名前と電話番号を記入で入館（先着順）

【運用上の利点】

整理券方式の時より多くの人が入館できる（ロスが少ない）
来観者に待ち時間が生じない

【運用上の課題】

予約できない人が一定数いる
問い合わせ多数（予約できない、時間に遅れるなど）・・・都度改善
予約チェックや、予約していない人・できない人への対応で、人手がかかる
予想外の観覧パターン
滞在時間が予想外に長い、再入館者が多い → 予約枠数を調整

8. リニューアル グランドオープン

内覧会

メディア向け（10月7日）32社44人、 内覧会（10月8日） 1271人

グランドオープン（10月10日）



グランドオープンの広報について

- ・記者発表 8月25日 知事記者会見（10/10 グランドオープンのお知らせ）
- ・メディア向け内覧会：別の日を設けて丁寧に説明、在阪・東京など遠隔地からも招待
- ・報道件数（10月8日～10月28日）
TV13件（うち生中継2件）、新聞・雑誌30件、Web185件

【成果】

ニュース・新聞とも関西一円で大きく取り上げられた。
開館した、というニュースだけでなく、細かい中身（UD）なども取り上げられた。

9. 第28回企画展示（10月19日～3月7日）

「守りたい！少なくなった生き物たち～未来につなぐ地域の宝物～」

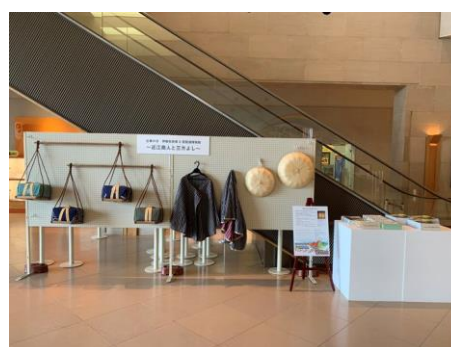
私たちの身の回りにいる生き物たちの中には、少なくなっている種類が多くいます。そうした生き物たちを未来につなぐにはどうすればよいのでしょうか！？生き物たちを守る取り組みを、貴重な剥製や標本、パネルなどを使って紹介します。



10. 共催によるアトリウムでの展示



世界農業遺産（県農政課）
7月22日～9月30日



伊藤忠商事（企業の日）
10月24日～11月23日

11. 企画展示田んぼの生き物全種データベース公開 (11月)

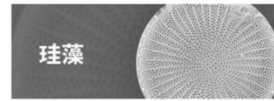
はじめに より

本データベースは、桐谷圭治編 (2010) 『改訂版 田んぼの生きもの全種リスト』を引き継いでデータベース化し、多くの人たちの協力により増補更新したものです。日本の水田とその周辺環境で見られる生物 6,305 種を掲載しています (2020 年 11 月時点)。

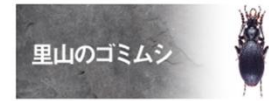
関連して、当館学芸職員が中心となって編集した書籍も出版されました。

「なぜ田んぼには多様な生き物がすむのか」

(大塚 泰介・嶺田 拓也 編) 2020 年 10 月発行京都大学学術出版会



珪藻



里山のゴミムシ



琵琶湖地域の火山灰



気象観測データ



田んぼの生きもの全種データベース